

全県青年会ニュース 第49号

令和8年3月30日 (第49号)

お問い合わせ・ご意見は…
宮城県建設業青年会
総務・交流委員会

〒980-0824
仙台市青葉区支倉町2-48番地
TEL 022-262-2211
FAX 022-263-7059

【総務・交流委員会】
 担当副会長：佐々木 浩也
 委員長：石堂 智悠
 副委員長：春日部 藤 剛
 副委員長：遠藤 野 拓
 副委員長：浅野 橋 圭
 事務局長：高橋 佳之
 委員：鎌田 桂・本田 和己・結城 佳之
 ・伏谷 綜太・高橋 正樹
 ・阿部 祥太郎・木村 和貴
 ・山内 庄城

宮城県建設業青年会

令和7年度定時総会

6月23日(月)に令和7年度定時総会をホテルグランテラス仙台国分町にて開催いたしました。役員をはじめ、委任状出席を含めた約90名の会員が出席し、令和6年度事業報告並びに収支決算書、令和7年度事業計画(案)、収支予算書(案)が承認されました。

会議終了後は同ホテルにて懇親会を実施し、来賓に(一社)宮城県建設業協会の千葉会長、歴代県青年会長の皆様をはじめ、宮城県土木部より稲村技術副参事(道路課)、千葉総括課長補佐(事業管理課)、尾形総括課長補佐(都市環境課)にご出席賜りました。



全国建設青年の日制定事業

10月9日(木)宮城県利府町宮城スタジアム付近の県道利府停車場総合公園線付近にて、清掃活動を実施しました。スマイルサポーターの認定を受けてから11回目の活動となり、当日は好天の中、総勢91名の会員が参加しました。

支部ごとに3班に分かれてゴミを収集し、活動終了後は昨年度に引き続き懇親会を仙台市内にて開催し、会員同士の親睦を深めました。

10月30日(木)に仙台クラシックゴルフ倶楽部において開催、プレー中は各支部の皆様が各々親睦を図りました。

○ゴルフコンペ(39名参加)
優勝 仙台建設業青年会
佐藤 渉 氏

中学生の職場体験学習

10月から12月にかけて、仙台青年会の赤坂建設(株)様、(株)高工様、(株)丹秀

工務店様、山辰建設(株)様のご協力により、仙台市内の中学2年生を対象とした現場実習の受け入れを行いました。生徒たちは3日間という短い期間ながらも、仕事のやりがいや厳しさを体験し、大きな刺激を受けている様子でした。



みやぎ元気まつり2025及び令和7年度みやぎ建設ふれあいまつり

8月2日(土)・3日(日)の「みやぎ元気まつり2025」(夢メッセみやぎ)で、ラジコン重機操作とペーパーウェイト作り体験をサポートしました。また、11月3日(月・祝)の「みやぎ建設ふれあいまつり」では、測量体験や高所作業車の試乗を実施し、約5,500人が来場しました。

第30回全国建設青年会議

12月5日(金)、リーガロイヤルホテル東京において第30回全国建設青年会議全国大会が開催され、全国から約600名が参加し、当会からも役員等15名が出席いたしました。

大会では「コンストラクション・プライド」をテーマとしたスピーチコンテストが行われ、各地域代表9名が登場し、北海道建設青年会の渡辺慶人氏が優勝となりました。

新春交流会

令和8年2月6日(金)に仙台市内にて、昨年に引き続き新春交流会を開催。ゲストを含め約100名が参加しました。本年度は石堂総務・交流委員長のもとアトラクションも実施され、大いに盛り上がりました。

仙台建設業青年会

仙台建設業青年会の令和7年度活動報告をさせていただきます。

令和7年度は、5月23日(金)に仙台市内 江陽グランドホテルにて定

時総会を開催しました。2年目の任期となる與那覇会長のあいさつをはじめとし、令和6年度の事業報告並びに会計報告、令和7年度の事業計画並びに予算計画の議題について承認をいただきました。

8月には、宮城県立こども病院の夏祭りボランティア事業を実施しました。今年も感染症対策を徹底し、打ち上げ花火の協賛やくじ引き、ヨーヨーの運営を行い、子供たちに楽しんでもらう事業を実施しました。

また、9月には例会をエル・パーク仙台にて行い、講師に株式会社フオーバル様をお招きし「建設DX」についてご講演いただきました。建設業界の生産性向上や人手不足解消に向けた建設DXの取り組み方などの基礎知識を学びました。その後、納涼会を行い、会員同士のさらなる親睦を深めました。

10月は全国建設青年の日制定事業(清掃活動)、全県青年会ゴルフコンペに参加し、各支部との親睦を図りました。11月には「みやぎ建設ふれあいまつり」において宮城県建設業協会の事業サポートを行い、多くの方に建設業の魅力を知ってもらえるよう努めました。

移動研修は10月に実施し、本年度は長崎県を研修の地と設定しました。軍艦島に上陸し、歴史的な遺産を直接肌で感じることに、日本の歴史や知見を広げる機会となりました。

また、11月には3校の中学生の職場体験の受け入れを実施し、体験を通して建設業の魅力や楽しさ、やりがいについて伝えることができました。

12月には、毎年恒例事業のクリスマス家族会を実施しました。多くの会員家族の方々に参加していただき、会員だけでなく家族間の親睦も深めることができました。

本年度も、建設業全体の問題に青年会員全員で取り組み、建設業のさらなる発展や地域への貢献に積極的に努めて参りました。来年度も建設業界や地域のために、より一層尽力して参りたいと思います。

仙南建設業青年会

仙南建設業青年会におきましては、前年に引き続き、春日部悠希会長のものと、会員10名にて令和7年度の事業活動をスタートいたしました。

本年度の主な活動として、まずは県青年会全体での活動でもあります8月開催の「みやぎ元気まつり」への参加と、11月開催の「みやぎ建設ふれあいまつり」への参加、そして10月に行われた宮城スタジアム周辺の清掃活動へ参加いたしました。

仙南青年会としましては、今年度、現場見学会を関係機関の協力のもと、計3回行うことができました。7月1日(火)に大河原産業高校生徒の皆様さんと蔵王の松川流路工事の見学を実施し、施工内容からICT建設機械・3D設計データなどの最新技術を紹介し、働き方の魅力なども感じていただけたと思います。

また、7月29日(火)には「2025夏休み!小学生と保護者の建設現場見学会」と題し、小学生と保護者を対象に現場見学会を開催しました。多くの参加者が集まり、高所作業車の試乗体験・トロン体験やアトラクション体験など、楽しく学ぶ機会を設けることができました。

最後は10月14日(火)に白石工業高校の生徒の皆さんと、丸森の新築工事の建築現場を見学し、建物が出来上がっていく工程を見ていただき、建築工事ならではのやりがいも感じていただけたと思います。

支部会員の交流の場として研修旅行を開催いたしました。大阪万博をメインに明石海峡大橋などを回り、教養を深めるとともに、会員同士の親睦を図り、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今後とも様々な活動を通して、地域と建設業のつながりをもっと身近に感じてもらうよう、和を広げながら仙南地区を盛り上げて参ります。

名目建設業青年会

名目建設業青年会は、令和7年5月9日(金)に定時総会を開催し、事業計画および予算案が全会一致で承認されました。阿部会長のもと、会員8名で令和7年度の事業をスタートいたしました。

7月には、仙南青年会SSと合同で

若手人材育成事業として、大河原産業高等学校の生徒を対象に、名取市内のダム工事現場において現場見学会を実施しました。併せて、生徒と会員との交流の場を設け、生徒から率直な意見を聞くとともに、建設業の重要性や進路選択の幅を広げる意見交換を行い、地域の担い手育成につながる有意義な事業となりました。

9月には、建設業の魅力を発信し、子どもたちに興味・関心を持ってもらうとともに、保護者にも建設業への理解を深めていただくことを目的として、「YUKI FOOTBALL ACADEMY」とコラボレーションし、建設CUPを開催しました。ラジコン重機の操作体験、高所作業車の乗車体験、バックホウの乗車体験、測量機器の体験などを通じて、建設業の魅力を子どもたちに存分にアピールすることができました。本事業は、次年度以降も継続開催できるよう計画しております。

塩釜建設業青年会

10月には清掃活動を実施し、11月にはみやぎ建設ふれあいまつりへの参加および移動研修会を行い、会員同士の親睦を図り、結束を高めました。来年度も名巨建設業青年会は、地域建設業の発展および地域創生に貢献できるように、各種活動に積極的に取り組んでまいります。

塩釜建設業青年会では、令和7年5月28日(水)に定時総会を開催し、令和6年度事業報告、決算報告、監査報告、令和7年度事業計画および予算案について審議し、いずれも全会一致で承認され、今年度は9名で事業活動を行いました。

当青年会の事業活動として、7月に納涼会・親睦ゴルフ、8月にみやぎ元氣まつり、10月にみやぎスタジアム清掃活動、11月にみやぎ建設ふれあいまつり、12月に忘年会を開催しました。

若手会員を主体として、業界をより広く認知していただくため、地域の皆様とのふれあいの機会を設けながら社会貢献活動を行い、会員同士の親睦も図りました。

これからも若手会員を含む9名の会員が積極的に各種事業活動へ参加し、年間を通じた親睦事業や地域イベントへの参加、環境美化活動などを通して、会員相互の交流を深めながら社会貢献活動に取り組んでまいります。

こうした活動は、会員同士のつながりを強めるだけでなく、地域社会との関係を築く大切な機会であると考えております。

また、活動を通して会員企業同士の情報共有や協力体制を深め、建設業を取り巻くさまざまな課題に対しても

連携して取り組める関係づくりを進めてまいります。

建設業は、地域のインフラ整備や災害対応など、地域の安全・安心を支える重要な役割を担っており、その一員として地域に根差した活動を継続していくことが大切であると認識しております。

今後も会員一人ひとりが建設業の担い手としての責任と誇りを持ち、地域社会とのつながりを大切にしながら、地域の守り手としての役割を果たせるよう努めてまいります。引き続き会員一丸となり、地域社会への貢献と建設業の発展に寄与できるよう、積極的に活動を進めてまいります。

大崎支部青年部会

大崎支部青年部会の令和7年度の活動についてご報告いたします。

5月9日(金)に定時総会を開催し、佐々木部会長のもと、会員19名で今年度の活動をスタートいたしました。

昨年度に引き続き、5月と10月の2回にわたり、化女沼の環境美化活動の一環として、除草や立木の伐採等の作業を実施いたしました。

また、7月30日(水)には、宮城県と建設業協会大崎支部の共催による「2025夏休み！小学生と保護者の建設現場見学会」に、会員全員で参加いたしました。

大崎市内の竹ノ内地区道路改良工事の現場において、バックホウや高所作業車の試乗体験、ドローン操作体験など、体験型の見学会を実施し、建設現場の魅力を発信いたしました。

当日は好天に恵まれ、大変暑い中での開催となりましたが、ミストファンの設置やこまめな水分補給の呼びかけなど、安全に配慮した現場見学会となり、多くの子どもたちに喜んでいただくことができました。

さらに、12月と1月に開催された「みやぎ建設架け橋サロン」においては、会員企業から数社が代表して管内の実業高校を訪問し、建設業の魅力や仕事のやりがいについて紹介いたしました。

今年度は、建設業のイメージアップと担い手確保を目的として、さまざまな活動に積極的に取り組んでまいりました。

新年度におきましても、より一層積極的な部会活動を通じて会員相互の親睦を深めるとともに、地域社会への貢献に努めてまいります。

栗原支部青年会

栗原支部青年会は、上田会長のもと

会員5名にて本年度の活動を展開いたしました。

主な事業として、若年層の建設業界への入職促進を目的に、市内の高校生を対象とした建設現場見学会を開催しました。建設業のやりがいや魅力を伝え、将来的に栗原地域の建設業界で活躍していただける人材の確保を目指した取り組みです。

また、県青年会の活動にも積極的に参加し、宮城スタジアムでの清掃活動やゴルフコンペ、新春交流会、みやぎ元氣まつり、建設ふれあいまつりなどの各種事業に協力し、他支部青年会の会員との交流を深めました。

次年度も、地域の発展と建設業の魅力発信に努めてまいります。

登米建設業青年会

登米建設業青年会は浅野会長のもと、会員11名にて本年の活動をスタートしました。

5月の定時総会をはじめ、移動研修、宮城スタジアム付近の清掃活動、「みやぎ建設ふれあいまつり」への参加、迫川清掃活動など、積極的に青年会活動に取り組みました。これらを通して、社会貢献活動を行うとともに、会員同士の親睦も深めることができました。

また、移動研修は大阪・関西万博において、最新の建設技術や持続可能な社会づくりに関する取組みを現地見学することを目的として実施しました。最も印象に残った点は、「未来社会の実験場」という万博のコンセプトが、建築・施工のあらゆる場面に反映されていたことです。各パビリオンは、再生可能エネルギーの活用、省資源化、モジュール化された建築手法により施工期間の短縮や解体・再利用が考えられており、人手不足やコスト高騰といった建設業界の課題に対する有効な解決策となり得ると感じました。

さらに、ITやデジタル技術の活用も進んでおり、効率的で安全性の高い施工が可能になると感じました。



今回の研修を通じて、建設業は単に「建てる」だけでなく、環境・社会・未来を見据えた価値を創造する役割を担っていることを強く実感しました。今後も青年会の活動を通じて、地域建設業界の発展と地域貢献に尽力してまいります。

石巻支部青年会

石巻支部青年会の令和7年度事業として、平成25年度から継続して取り組んでいるマイルサポーター活動を、今年度も年3回実施しました。

また、石巻工業高校 土木システム科1年生を対象とした現場見学会では、発注者である宮城県様、施工会社である共同企業体様の多大なるご協力のもと、「仮称 大谷川浜小積浜トンネル工事」の現場を、生徒の皆さんとともに見学することができました。

さらに、当会の重要事業と位置付けている地域貢献事業については、今年度も防犯標語「いかのおすし+2」のクリアファイルを贈呈する予定です。贈呈枚数は、石巻市教育委員会へ800枚、東松島市教育委員会へ300枚、女川町教育委員会へ200枚の計1,300枚で、年度内の実施に向けて現在各方面と調整を進めております。

この活動は今回で13回目となりますが、来年度以降も継続して取り組んでまいります。

その他にも、地域イベントへの協力など、石巻支部青年会の団結力をもって積極的に活動を展開して参ります。

気仙沼建設業青年会

気仙沼建設業青年会の令和7年度の活動報告をさせていただきます。

令和7年は4月7日(月)に定時総会を開催し、遠藤会長のもと、令和6年度の事業報告並びに決算報告、令和7年度の事業計画並びに予算計画が満場一致にて承認され、活動を開始いたしました。

本年度はコロナも落ち着き、活動計画どおりに実施できた1年となりました。

9月9日(火)には宮城スタジアム付近を、県内各支部の青年会の皆様と協力して清掃活動を行い、スタジアム周辺の美化に努めました。

また、同じく9月には10日(水)〜12日(金)にかけて移動研修会を実施いたしました。大阪府で開催されていた大阪・関西万博を訪問し、世界各国の文化や先端技術に触れることができました。

11月3日(月・祝)にはみやぎ建設ふれあいまつりへ参加し、建設業の魅力を子どもたちへアピールいたしました。

3月4日(水)・6日(金)には昨年同様「防犯標語入りクリアファイル」を気仙沼市教育委員会並びに南三陸町教育委員会へ寄贈し、新小学一年生に配布していただくようお願いしてまいりました。

新年度も青年会の活動を通して社会貢献、建設業界の発展に尽力してまいります。